



「憧れ」とは

校長 内田 法子

「僕から一個だけ。憧れるのをやめましょう。」

少し前になりますが、2023年3月のワールド・ベースボール・クラシックの大会の中で、世界で活躍する大谷選手が話した言葉です。覚えていらっしゃる方々も多いかと思います。

「憧れる」という言葉の意味を様々な場で考えながら過ごした1月でした。

1, 2年生は幼・保・小交流会で約70名近くの数の近隣の幼稚園や保育所の子供たちを迎え、学校の中を説明しながら一緒に歩いたり、昔遊びに楽しく取り組んだりしました。司会や遊びの説明など、堂々と話し、活躍する1, 2年生の姿を幼稚園や保育所の子たちが憧れの眼差しで見つめている姿が印象的でした。

3年生は同じ階の4年生の教室が気になるようで、時々、教室の様子を見ている姿があります。どんな活動をしているのか、興味があるのでしょうか。「次の学年ではこういう勉強をするんだ」とか「おもしろそうだなあ」などと思って見ているのかなと思います。

4年生は、先日の球技大会壮行会で学校行事を計画し、司会や進行を務めるという大役を果たしました。ついに学校を支える高学年として活躍する時がやってきました。今までも、委員会活動の中や様々な行事の中で5, 6年生の動きを見てきたので大丈夫!安心して任せられます。

そして**5, 6年生**。球技大会開会式の中で宮野木小学校の校長先生から「みんなは、他の学年の子たちの憧れの存在」というお話がありました。その言葉通り、どの試合でも力を尽くし、試合終了の合図が鳴り響く瞬間まで全力でプレーする姿があり、この活躍するカッコいい姿を、多くの他学年の子たちに見せたかったな、と思ったほどです。声を掛け合い、励まし合う姿、必死にボールに食らいつく姿、シュートを入れられて、あるいはシュートが決まらなくて悔しがる姿、きれいにシュートが決まった瞬間、「わーっ!」とどよめく歓声上がる中、みんなで喜び合う姿、相手選手の華麗なプレーを目の当たりにし、息をのんで見つめる姿等、様々な出来事が、あの短時間の大会の中にあり、練習期間も含めたこの大会が、さらに子供たちを成長させたのではないかと感じます。応援に駆けつけてくださった保護者の方々は寒い中の応援にもかかわらず「楽しいです!」とおっしゃってくださっていました。子供たちの頑張りや、私たちに喜びをもたらす明るい光そのものです。

5年生は6年生の姿を見てこの一年間、過ごしてきました。いよいよ5年生は4月から最高学年に、6年生は中学校に進学となります。どの学年も身近に「憧れる」存在があることは幸せなことです。次につながる原動力となります。

大谷選手の言葉は「まあ野球やってれば、誰しものが聞いたことあるような選手たちがいると思うんですけど、今日一日だけは、やっぱ憧れてしまったらね、超えられないんで。僕ら、今日超えるために、トップになるために来たんで。」と続きます。子供たちを次の学年につなげられるよう、そして超えられるよう支援してまいります。

今月も本校の教育活動にご理解とご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

お知らせ

☆校内書き初め展について

校内書き初め展を開催します。子供たちの練習の成果をぜひご覧ください。詳細につきましては、先日すぐーる配信しましたご案内をご確認ください。

☆学習参観・懇談会について

今年度最後になりますので、ご都合が合いましたら、子どもたちの成長をご覧ください。詳細につきましては、1月9日にすぐーる配信しましたご案内をご確認ください。

☆後期学校生活アンケートについて

1月26日(月)にすぐーるにて、アンケートを配信しております。今後の教育活動に生かしてまいりたいと思いますので、2月6日(金)までの回答にご協力くださいますようお願いいたします。

☆転出等の連絡について

今年度末までに転居等により転出される場合は、学級担任まで早めにご連絡をお願いいたします。

☆体操服について

令和8年1月より、体操服上(半袖クルー)が新しい型になり、それに伴い価格も変更になりました。